

対策案の比較評価

ワークショップでは、各案を課題解決の狙いとなるポイントから評価しました

【判定の基準】◎現状より向上 ○：現状維持または一長一短がある △現状より低下

ポイント	A案	B案	A+B案	C案	D案	E
過度な財政負担が将来世代に残らない	△ 保育園の公設民営で◎	△ 保育園の公設民営で◎	△ 保育園の公設民営で△	◎ 保育園の公設民営で◎	◎ 保育園は民設民営	
地域のまとまり・一体感を醸成	◎ ・新拠点整備→一体感を醸成が期待	◎ ・2拠点整備+相互連携→一体感を醸成が期待	◎ ・2拠点整備→一体化が図られない可能性	○ 現状と変わらず	○ 現状と変わらず	
子育てしやすいまち	◎ ・統合保育園に十分な駐車場を確保 ・新施設で多世代交流が期待	◎ ・統合保育園に十分な駐車場を確保 ・新施設で多世代交流が期待 ・公民館一部を子どもの居場所に転用	◎ ・統合保育園に十分な駐車場を確保 ・新施設で多世代交流が期待 ・公民館一部を子どもの居場所に転用	○ ・公民館一部を子どもの居場所に転用 ・保育園の駐車場の課題が残る	△ ・規模縮小などの懸念 ・民間事業者を探す必要性	
若者・高齢者・障がい者の居場所	○ ・新施設で多世代交流が期待 ・公民館が移転し活動場所が変わる	◎ ・新施設で多世代交流が期待	◎ ・新施設で多世代交流が期待	○ ・憩の家が廃止（機能移転なし） ・新施設が居場所となる可能性	△ ・憩の家が廃止（機能移転なし）	現状（比較の基準）
地域住民が集え地域外からも人を呼び込める施設	◎ ・新施設で地域イベントや地域外から人を呼び込むイベントが開催しやすくなる	◎ ・身近にある施設を選択して利用できる ・2拠点の連携強化により利用しやすくなる	○ ・身近にある施設を選択して利用できる ・機能が重複するため利用率低下の可能性	○ 現状と変わらず	△ ・鐘木会館が廃止（機能移転なし）	
アクセスしやすい公共施設配置	○ ・新施設に駐車場が確保でき、バス乗り入れの可能性 ・公民館周辺から遠くなる	◎ ・新施設に駐車場が確保でき、バス乗り入れの可能性	◎ ・新施設に駐車場が確保でき、バス乗り入れの可能性	△ ・保育園の駐車場の課題が残る	○ 現状と変わらず	
地域に必要な避難所機能を維持	◎ ・新施設を一時避難所にできる可能性	◎ ・新施設を一時避難所にできる可能性	◎ ・新施設を一時避難所にできる可能性	○ 現状と変わらず	○ 現状と変わらず	

新潟市財産経営NEWS 第5号

<発行者>
地域別実行計画コミュニケーション事務局
(江南区地域課：Tel.025-382-4619
市財産活用課：Tel.025-226-2387)
平成29年6月発行



ワークショップの様子

ワークショップ最終回が開催されました 曾野木のまちづくり ～公共施設のこれから～

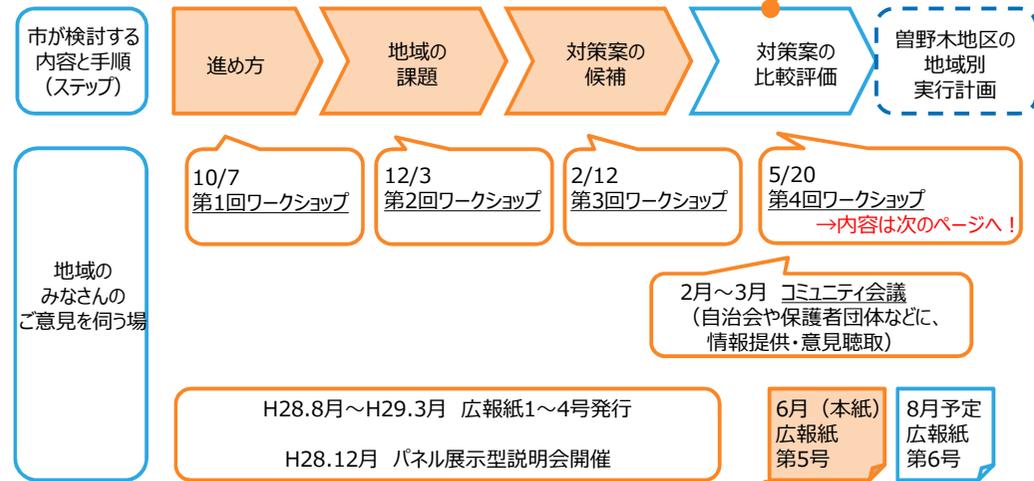
昨年10月から開催された「地域の公共施設のこれから」を考えるワークショップも、5月で最終回を迎えました。

地域のみなさんのご意見をもとに、市で検討を行い、地域の公共施設の将来のあり方を示す「地域別実行計画」が策定されますので、ぜひ紙面をご覧ください、ご意見をお寄せください！

公共施設のあり方について、検討をすすめています

市は、検討のステップ（下図の上段）に合わせ、ワークショップ・広報紙・パネル展示型説明会などの方法で、広く地域のみなさんのご意見を伺い、検討に反映させ、公共施設の将来のあり方を示す「地域別実行計画」の策定に結びつけます。

現在、検討を進めています！



ご意見をお寄せください！

ご意見・お問い合わせはこちらまで

地域別実行計画コミュニケーション事務局
(江南区地域課・新潟市財産活用課)

ご意見をお寄せください！

- 郵便 〒950-0195 新潟市江南区泉町3-4-5
- 電話 025-382-4619
- FAX 025-381-7090
- メール chiiki.k@city.niigata.lg.jp

江南区親善大使：十全さん（曾野木地区出身）→



「地域別実行計画」策定までと策定後のすすめかた

市は、地域のみなさんのご意見を検討に反映させ、実行計画案を作成します。その後、広報紙などで情報提供・意見聴取を行い、「曾野木地域実行計画」が策定されます。

計画の実施（施設整備など）は、適宜、地域のみなさんや施設の利用者などに意見聴取を行いながら進められます。

現在地はここです



意見反映



ご意見をお寄せください！

連絡先は表紙にあります！

対策案と評価表(修正案)について、議論しました

第4回ワークショップでは、これまでの議論や寄せられた意見をふまえ、事務局から再度提示された6つの対策案について、長所や課題などを議論しました。

また、各案を比較評価しました。→**評価の詳細は最後のページへ!**

※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。

凡例

- 複合化・多機能化
- 売却・貸付
- 存続
- 廃止・解体

ワークショップで配布した資料は、市ホームページに掲載しています。

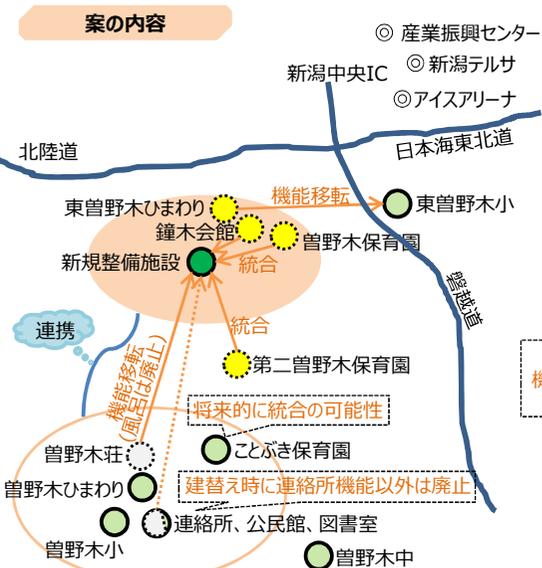
曾野木地域のこれから



<http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/zaisan/zaikeitorikumi/ws.html#cms82D6B>

A 新たな拠点を整備し、地域の中心をつくる案

- 現在の公民館の機能を新規施設に移転

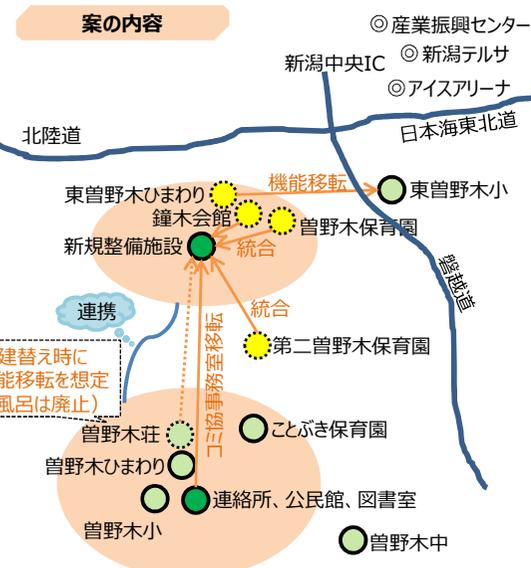


議論の内容(抜粋)

- ほとんどの施設が新規整備施設に集約され、かたよりが出る。公民館周辺の住民に受け入れがたいのでは。
- 公民館に連絡所だけ残すのは中途半端。移転するなら、すべて新規整備施設に持っていき方が良いのでは。
- 公民館が建替え時期まで残るのであれば、その間に地域の変化に住民がなじむことができる。

B 二拠点整備案(機能を住み分け)

- 現在の公民館の機能を活かしつつ、新規施設をつくる

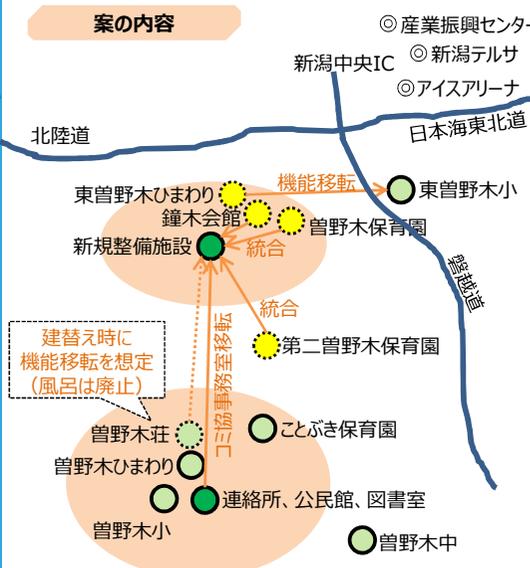


議論の内容(抜粋)

- コスト面を考えると、現実的で妥当だと思う。
- 拠点が2つになっても、機能を分ければ使い分けができ、住民が行き来したり、交流が生まれると思う。
- 拠点が2つになるので、交通アクセスの整備は不可欠。区バスで結ぶなど対応を。

A+B 二拠点整備案(機能が一部重複)

- B案の新規施設の機能に加え、現在の公民館の機能も新規施設に付加

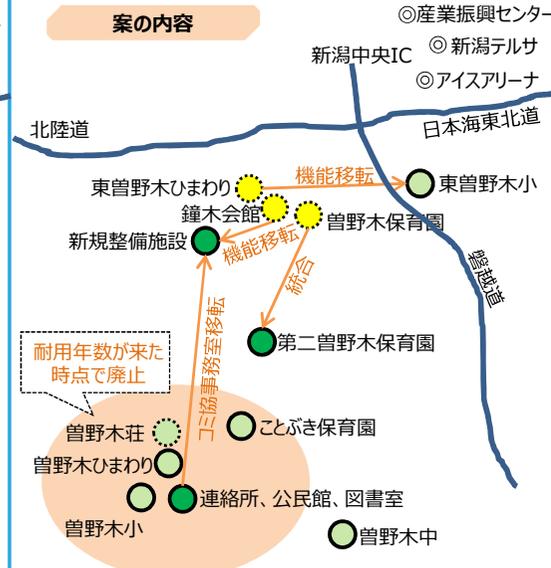


議論の内容(抜粋)

- コスト面を考えなければ、2拠点到施設が充実するのは良いと思う。
- 子どもや孫の世代に財政負担をかけたくないし、人口減少も懸念される中で、現実的ではない。
- 公民館機能は地域に2つはいらないのでは。

C 従来の拠点を活かす案

- 現在の公民館を維持し、新規施設に最小限の機能を整備



D 財政的効率化案

- 曾野木・第二曾野木・ことぶき保育園を統合し、民間活力を導入して市営住宅跡地に整備
- 統合保育園以外は新たな施設整備は行わず、現状ある施設を維持
- 老人憩の家曾野木荘・鐘木会館は、建替え時期が来た時点で廃止

E 現状維持案

- 現状ある施設を、そのままの配置で今後も維持
- 市営住宅跡地に施設は整備せず、売却

※E案は、各案を比較する際の基準となる案です。

案全般の議論(抜粋)

- 地域内に学生が勉強するスペースを設けてほしい。
- 2つの小学校区それぞれに、安心、安全な子どもの居場所が必要。
- 遊戯室、読書スペース、学習スペースなど複数の機能を有した、幅広い年齢の児童、生徒が楽しめる場を。
- 鐘木会館が移転となっているが、倉庫機能や集会機能の確保を。
- 民間を活用してでも、老人憩の家のような高齢者の居場所の存続の検討を。
- 水害時に避難できるような階高やスペースの検討を。
- 場所を作るだけで人が集い利用されるわけではないので、運営上の工夫が必要。

今後の進め方の議論(抜粋)

- 実行計画の案や、新規整備施設の具体的な検討をする際にも、一方的な説明会方式ではなく、今回のようにワークショップなどで地域の意見をききながら進めてほしい。
- 保育園の運営(民営化)やスケジュールなど、保護者が気になる点があるので、スケジュールを示し、民営化に対する意見を行く場を設けてほしい。
- インターネット、保育園の便り、コミ協の広報紙など、さまざまな媒体で広報する必要があるのでは。
- 決定を先延ばしにせず、着実に計画を進めてほしい。
- コスト削減が重要課題であることは理解できるが、地域の状況をふまえた将来ビジョンを見据えた実行計画を立ててほしい。

ご意見をお寄せください!
連絡先は表紙にあります!

